

開設講習名	【選択】プログラミング教育入門		講師	中田 充・葛 崎偉	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 12 月 2 日		時間数	6 時間	受講予定人数 20 人
受講者募集期間	平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日		履修認定時期	平成 30 年 1 月 15 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校教諭, プログラミング教育に興味がある 中学校・高等学校教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

【到達目標】

- 教員自身がプログラミングの楽しさを理解することができる。
- プログラミングの基礎的な知識を身につけ、ビジュアルプログラミング言語を用いて簡単なプログラムを作成することが出来る。
- 自分が担当する授業においてプログラミングを取り入れる方法を検討できる。

【講習の概要】

プログラミング教育の小学校での必修化や中高等学校での充実が検討されています。このような状況に対応する第一歩として、本講習は、「教員自身がプログラミングの楽しさを理解する」ことを目的として、以下のような内容について学習します。

- 1) プログラミング教育の必要性とあり方について
 - プログラミング教育の必要性や現状の紹介、今後の目指すべき方向について考えます。
 - 現在、学校教育やそれ以外の教育現場で行われているプログラミング教育の取組みについて紹介します。
- 2) プログラミング環境「Scratch」を用いたプログラミング演習
 - 子供用プログラミング環境として多くの学校やプログラミング教室等で用いられている「Scratch」を用いたプログラミング演習を通して、プログラミングの面白さを理解することを目指します。
- 3) 各自の授業における応用の可能性の検討
 - それぞれの受講者が担当する授業において、Scratch を用いたプログラミングをどのように利用できるかを検討し、受講者同士での共有を図ります。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法：筆記試験

評価基準：

合格： 講義の内容を理解し、プログラミング教育の必要性を理解し、今後の方向性や自己の授業における応用について考えることができる。

不合格： 上記以外

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。

【受講者への伝達事項】

本講習はプログラミング未経験者を対象としています。